



秦荘中学校 学校通信

至誠

スローガン

「笑顔いっぱい、ともに学び、
ともに伸びる学校」

令和6年(2024年)

2月27日 第10号

発行者 久保田重幸

保護者・地域の皆さまへ

令和5年度 秦荘中学校 生徒・保護者向けアンケート結果より

昨年12月、生徒・保護者の皆さんにご協力いただき、「令和5年度 秦荘中学校 生徒・保護者向けアンケート」を実施しました。今回は、その結果（裏面参照）をもとに、今年度の本校教育を振り返ってみます。

まず、成果としては、項目1、2、6、7、8において、昨年度並みまたは昨年度以上の肯定的評価がみられました。特に、項目2「授業をしっかりと受けている」、項目7「体育大会や文化祭、生徒会活動などに意欲的に取り組んでいる」については、生徒・保護者ともに、昨年度を超える数値となりました。項目1では、コロナ禍を乗り越えて、学習活動における制限も解除され、話し合い学習や体験的な学びを深める機会が増えたことも数値上昇に貢献したと考えています。また、項目7では、団活動を取り入れた体育大会や、生徒会企画「夢」トークイベントを含んだ文化的行事、新たに実施した1年生合唱コンクール、生徒参画型の1・2年PTA学年行事等、生徒主体の学校行事を実施したことが、数値上昇の要因の1つと考えています。項目1、2、6、7、8の成果については、本校の学校スローガン「笑顔いっぱい ともに学び ともに伸びる学校」の実現に通じるものであり、今後もぜひ継続させたいと思います。



体育大会 団入場行進パフォーマンス

一方、課題としては、項目5、10、12、15の数値が低いことです。特に、項目10「いじめや暴力がなく安心して過ごせる」や項目12「安全指導や緊急時の対応など安全について学ぶ」等の生徒の「安心・安全」に関わる数値が低いことについては、教職員一同、重く受け止めています。生徒の「安心・安全」に関わる指導については、全体での指導だけでなく生徒一人ひとりに応じた個別の指導を大切にしたり、生徒会と連携しながら生徒自身の自発的な取組を促したりする等、改善につとめます。また、項目5の「部活動に意欲的に取り組んでいる」の数値が低いことも重要な課題として捉えています。現在、部活動については、「学校における働き方改革」の観点からも、全国的にそのあり方について様々な検討がなされています。本校においても、部活動のあり方について検討を続けていますが、検討する上で重視しなければならないことは、以下の内容です。

教育課程外の学校教育活動と教育課程の関連が図られるように留意するものとする。特に、**生徒の自主的、自発的な参加により行われる部活動**については、スポーツや文化、科学等に親しませ、**学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等、学校教育が目指す資質・能力の育成に資するもの**であり、学校教育の一環として、教育課程との関連が図られるよう留意すること。その際、学校や地域の実態に応じ、**地域の人々の協力**、社会教育施設や社会教育関係団体等の各種団体との連携などの運営上の工夫を行い、**持続可能な運営体制**が整えられるようにするものとする。

（中学校学習指導要領（平成29年3月）及び高等学校学習指導要領（平成30年3月）の総則より引用）

部活動は、あくまで「生徒の自主的、自発的な参加」に基づき「学校教育が目指す資質・能力の育成に資する」ものであり、部活動運営の際には「地域の人々の協力」等を得ながら「持続可能な運営体制」を整備していくことが重要です。本校においても、今後「生徒の自主的、自発的な参加」を重視した運営のあり方について考えていきます。今後も引き続き、保護者・地域の皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後に、アンケート結果でみられた成果については、今後さらに伸ばしていき、課題については改善につなげたいと思います。生徒、保護者の皆さま、貴重なご意見を賜り、ありがとうございました。